

## 幼稚園の規模によるメリット・デメリット

幼稚園の適正規模についての国の定めはありませんが、一般的には規模によって次のようなメリット・デメリットがあるとされています。

### (1) 小規模園

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園児一人ひとりにきめ細やかな配慮や援助を行いやすい。</li> <li>・ 異年齢交流が図りやすい。</li> <li>・ 園活動の小回りがきく。</li> <li>・ 地域との交流がしやすい。</li> <li>・ 保護者のつながりが強い。</li> <li>・ 地域性が強い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だち関係の固定化や序列化を招くことが心配される。</li> <li>・ 大勢の友だちと活動を展開する充実感や満足感を幼児が感じにくい。</li> <li>・ 同年齢児が少ないため育ちの中で互いに影響を及ぼしにくい。</li> <li>・ 十分な集団活動ができにくい。</li> <li>・ 大勢の中に入ると萎縮する。</li> <li>・ 職員が少なく、研修等の調整が難しい。</li> <li>・ 保護者の負担が大きい。</li> </ul>

### (2) 大規模園

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多数の集団になることで、園生活がより豊かで楽しくなり、友だちの大切さに気付くことができる。</li> <li>・ 園児数が増えると活動を展開する充実感や満足感を幼児がより感じやすくなる。</li> <li>・ 職員数が多くなり、保育体制が充実することで専門性を活かした活動が展開できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員が、園児一人ひとりに関わる時間が少なくなる。</li> <li>・ 遊具等の順番を待つ、活動スペースが狭いなど時間や場の制限がされる。</li> </ul>